

特別委員会の中間報告(要旨)

今臨時会において、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、子ども施策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及び生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会が中間報告を行いました。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

都市交通施策について

区総合交通計画に基づき、バス事業者と協議を重ね、バス路線網の整備、公共交通空白地域の解消を進める必要があります。北綾瀬駅の整備について

駅改良に向けて、東京地下鉄株式会社と連携していくとともに、進捗状況を注視する必要があります。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び都市基盤整備について

高架化工事では、鉄道事業者との連携、国や都の協力を得て、早期完成を目指すことに加え、着実な事業進捗に向け財源確保に努めなければなりません。



また、高架化等の工事の影響を考慮しつつ、引き続き地域住民と協議を重ね、安全・安心で利便性の高いまちづくりを推進していく必要があります。

鉄道路線の強化等について

次期交通政策審議会答申に向けて、地下鉄8号線区内延伸が実現するよう、引き続き国や都への要請活動の促進に加え、PR活動等により地域住民の機運を高めていくことが重要です。

また、東北縦貫線直通列車の北千住駅停車に向け、今後、JR東日本に対し要望活動を継続していくことが肝要です。

UR花畑団地再生事業の推進・周辺地区のまちづくりについて
団地及び周辺地区の活性化の取り組みに関し、UR都市機構やまちづくり協議会と引き続き協議していく必要があります。

本特別委員会は、鉄道及びバス路線網の誘致・拡充等の活動を推進しつつ、都市基盤の整備、充実に向け、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

子ども施策調査特別委員会

本特別委員会は、「子どもの健全な成長」「子育て支援」に関すること等について調査研究を進めてきました。

待機児童対策について

地域や施設による需要と供給の相違が生じており、待機児童の状況や、今後も増加が見込まれる保育需要を踏まえた対策が求められています。各地域に



おける需要の実態に応じた保育施設の整備とともに、保護者に対して様々な保育サービスの周知と利用を図り、総合的な待機児童対策を行うこととしました。

子ども支援について

「あだち5歳児プログラム」の実践結果を検証し、小1プログラム解消のためにさらなる充実を図ることが、期待されます。

児童保育室においても、地域ごとの需給バランスを分析し、将来予測を考慮しながら、待機児童解消に向けて取り組んでいく必要があります。

子育て支援の環境整備について
「こども支援センター」げんき」には、子どもに関する総合相談窓口として、関係機関との連携を密にし、様々な問題の解決に向けて迅速な対応を講じる

ことが求められています。平成25年4月にリニューアルオープンしたキャラクターティは、学び、遊び等を通じて子どもの成長を支える複合施設として、さらに発展していくことが望まれます。

本特別委員会は、足立区の未来を担う子どもたちが健やかに

災害・オウム対策調査特別委員会

本特別委員会は、災害・オウム真理教(アレフ)・放射線対策に関すること等について調査研究を進めてきました。

災害対策について

北千住駅で実施した帰宅困難者対策訓練の検証結果を踏まえ、今後は駅前滞留者対策推進協議

会との連携・協働により、情報提供、帰宅支援等の対策を確実に実施することが期待されます。

また、総合防災訓練では、毎年、訓練内容・結果が向上するよう努めていく必要があります。

地域防災計画について
委員提案の防災区民組織の強化、女性の視点に立った取り組み、減災のための密集市街地整備・建物耐震化促進、被害想定

の見直し、第二次避難所に対する

備蓄・人的支援等について、様々な形で地域防災計画の改訂に反映されました。今後は、本計画に沿った実効性ある取り組みが求められます。



本会議の様子

生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会

本特別委員会は、生活保護の適正実施及び高齢者の生きがい対策等に関する調査研究を進めてきました。

生活保護制度について

この制度は、生活困窮者に対し、程度に応じた必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を目的として運用されています。生存権を保障する上で必要不可欠な制度である一方、様々な課題も指摘されています。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

稼働年齢層の受給増による収入申告漏れの未然防止策と発覚後の対策として、委員から、警察との連携や住民通告を活かす仕組みづくり、不正受給監視職員の配置等の提案がありました。

医療扶助における頻回受診等への、より抜本的な取り組みとして、後発医薬品の使用原則化、医療費の自己負担徴収、医師会等との連携が提案されました。

放射線対策について

区民からの通報による区有施設の放射線量確認及び低減措置の実施等、区は継続して対策を講じています。

一方で、今後新たな知見が発見されることも予想されます。同等の動向を注視しながら、対策を進めていく必要があります。

本特別委員会は、さらに議論を重ね引き続き調査研究を続けていく必要があります。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

会派役員紹介

足立区議会自由民主党

- 幹事長 古性 重則
- 副幹事長 吉岡 茂
- 同 金田 正

足立区議会公明党

- 団 長 たきがみ 明
- 幹事長 前野 和男
- 副幹事長 うすい 浩一
- 同 岡安 たかし

日本共産党足立区議団

- 団 長 針谷 みきお
- 幹事長 ぬかが 和子
- 副幹事長 さとう 純子

足立区議会民主党

- 幹事長 鈴木 あきら
- 副幹事長 おぐら 修平
- 幹事長 浅古みつひさ

足立区議会みんなの党

- 幹事長 浅古みつひさ

編集後記

例年より早く梅雨入りした関東地方ですが、少雨の傾向が続き、今夏の水不足が心配されています。暮らしの中の節水をお願いします。暮らしの中で心がけたらいいです。さて、各会派役員の変更に伴い、広報委員会は次のとおり構成となりました。今後も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めて参ります。

- (議 長) 馬場 信男
- (副 議 長) あかし 幸子
- (議会運営委員長) くじらひ光治
- 古性 重則 岡安 たかし
- 吉岡 茂 針谷 みきお
- 金田 正 ぬかが 和子
- たきがみ 明 鈴木 あきら
- 前野 和男 浅古みつひさ